

令和5年度 第1回愛西市総合教育会議 会議録（概要）

会議名称	令和5年度 第1回愛西市総合教育会議	
開催日時	令和5年12月18日（月）午前10時00分から午前11時15分まで	
開催場所	愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1・2	
議長名	日永貴章	
出席者	別紙のとおり	
欠席者	1人	
公開・非公開	公開	
傍聴人の数	0人	
議題	(1) 小中学校規模等適正化・老朽化対策について (2) いじめ・不登校の現状について	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料	次第 資料番号1 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画（案） 資料番号2 いじめの現状について・不登校児童生徒の状況について 総合教育会議 配席図	
会議録の確定		
確定年月日	署 名	
令和6年1月26日	署名者 愛西市市長 日永 貴章 愛西市教育委員会 大竹 節雄	

1. 愛西市総合教育会議設置要綱第3条に基づく出席者

役 職	氏 名	備 考
市 長	日 永 貴 章	
教 育 長	河 野 正 輝	
教 育 委 員 会 委 員	杉 方 南 衣	職務代理者
〃	水 谷 朋 和	
〃	大 竹 節 雄	
〃	難 波 知 里	欠 席
〃	水 谷 芳 廣	

2. 出席した職員

役 職	氏 名	備 考
副 市 長	鈴 木 睦	
(市長部局事務局)		
企 画 政 策 部 長	西 川 稔	
企 画 政 策 部 参 事	澤 井 勇 一 郎	
企 画 政 策 部 経 営 企 画 課 長	井 戸 田 悦 孝	
企 画 政 策 部 経 営 企 画 課	若 松 孝 志	
〃	服 部 陽 介	
(教育委員会事務局)		
教 育 部 長	佐 藤 博 之	
教 育 部 次 長	小 島 洋 志	
教 育 部 学 校 教 育 課 長	猪 飼 政 和	
教 育 部 生 涯 学 習 課 長	石 田 泰 弘	
教 育 部 ス ポ ー ツ 課 長	長 谷 川 努	
教 育 部 学 校 教 育 課 主 幹	吉 田 光 男	
教 育 部 学 校 教 育 課	坪 井 靖 史	
〃	祖 父 江 悠 里	

会議経過

発言者	内 容
市長	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 審議事項</p> <p>(1) 小中学校規模等適正化・老朽化対策について</p>
教育長	<p>教育委員会として、学校の適正規模等並びに老朽化対策について、市民への理解の浸透を図るため、毎月の回覧やホームページでの情報発信に努め、7月から8月にかけて保護者や住民の声を直接聞くため座談会を実施した。</p> <p>10月12日の臨時教育委員会で、これまでの取組内容について協議した結果、地域住民の十分な理解と協力、意見等をいただく取組がさらに必要であると判断し、立田・八開地区の世帯を対象に意向調査を実施した。結果は、立田地区・八開地区ともに、適正規模化について概ね賛成であった。</p> <p>11月28日の臨時教育委員会では、この意向調査の結果を尊重し、新たな第Ⅰ期基本計画案に①5つの施策を盛り込むこと、②計画の期間を令和6年度から13年度までとすることを議決した。</p> <p>直近の、一歩ずつ着実に進んでいる事業の進捗について話させていただいた。</p>
事務局	<p>(資料1について説明)</p>
委員	<p>基本計画案では、ここ7年間で5つの施策を実施するというところで、大変期待をしているが、施策を実現するためにはお金と人材が必要だと思う。予算をしっかりと確保していただき、準備委員会や愛西市立小中学校適正化事業のプロジェクトチームなどで推進していきたい。</p>
市長	<p>今年度に入って立田・八開地区の保護者や地域の皆様を対象に、座談会、意向調査を行ったが、この結果を見た感想や課題があれば、お聞かせいただきたい。</p>
委員	<p>校舎の老朽化、少子化、特に立田・八開地区の令和4年度の0～3歳児の出生率を考えると、待ったなしの状況だと思う。早急に準備委員会と市のプロジェクトチームを立ち上げ、教育委員会で検討をする必要があると思う。</p> <p>中でも、意向調査や座談会で多くの方が不安に感じている通学の問題、事前交流などについて、早急に素案を作成し、随時保護者等への説明や、広報やホームページを活用した市民への周知が必要だと思う。</p>
市長	<p>教育委員会としては出生率等の状況と意向調査の内容から、早急に重点課題について、市全体として協議するようというお話でよろしいか。</p>

市長	次に、令和6年度には清林館高校に、令和7年度には津島高校にそれぞれ中学校が開設をされる。小学6年生や中学3年生には進路指導が行われていると思う。実際にそれぞれの中学校への進学をどれぐらいの愛西市のお子さんが希望されているか等の情報は入っているか。
教育長	清林館中への進学については、私立の学校ということもあり、情報の把握は難しいところだが、説明会に参加された方が一定数いると聞いている。 津島高校附属中の入学説明会には私自身、出席したが、愛西市、津島市、弥富市の順に参加者が多いと聞いている。 現在の清林館高校の在籍生徒数のうち、市内在住者は約12%、津島高校は約19%となっている。
市長	清林館中学校、津島高校中等部にそれぞれの進学意向は、いつの時点で把握ができるのか。次の年の市立中学校の学校運営に大きく関係する。市としてはどの段階までに市立中学校に進学する生徒数の把握をされるのか。
事務局	受験を経て、それぞれの中学校に進まれるということを考えると、合格発表を過ぎないと、市立中学校の生徒数は正確に把握できないと思う。 一方で令和6年度・令和7年度が初年度になるので、6年度7年度の傾向を鑑みて、今後ある程度、市立中学校に通う生徒数については、教育委員会で推定をした上で、学校運営を図っていく必要があると考えている。
事務局	個人情報的なことから、学校としても非常に把握しにくい。小学校の担任も保護者から受験するという話を聞かない限り把握はできない。複数校を受験する方もいるので、保護者からも情報を把握しづらく、希望学校に合格して初めて把握できる状態である。
市長	清林館と津島の中学校の合格結果はいつ出るのか。
事務局	清林館の合格は1月の半ばに発表される。
市長	中高一貫校に進学する生徒数によって、市立中学校の先生もクラス配置も全部変わる可能性があるのではないか。
事務局	数は少ないながらも、中学校の段階で私立に入られるお子様については、保護者からしか情報が入ってこない状況である。 清林館・津島となると、数のボリュームが増えてくるので、今後どういう確認の仕方ができるかが課題となってくる。
市長	老朽化対策は学校の改修だけでなく、建替えも視野に入るとすると生徒数・学級数の見込みは必要。今後、生徒数をどの時点で把握できるのか確認

	<p>するプロセス等を考えておく必要がある。</p>
委員	<p>生徒数をしっかり把握するためのプロセスをきちんと確立することも重要だが、私の経験の中で、子どもが自ら前面に出て、私は私立を受験するからと言う子は多分いないと思う。お母様がこっそりと話される場合もある。</p> <p>複数受験でどこかに入るということではなく、本当にここに行きたいからと受験を頑張っていた子が、合格できなかった例もある。そのあと公立の中学校に行った時に、周りからの目を気にするなど、お子様のその後のこともある。確実に数を把握することは難しい。その点も考慮していただきたい。</p> <p>データとしてこれから出てくる数字を大切に扱っていただけると良いと思う。</p>
市長	<p>それは理解できるが、市立中学校のクラス編制等も考えないといけない。教育委員会としてはどう判断していくか、よく協議していただきたい。</p>
委員	<p>中高一貫校ができて、どこへの進学を選ぶかの問題で一番大きい影響となるのが、学校の統廃合がいつ決まるのかということである。中高一貫校に負けない中学校を作る必要があるという思いを持っている。</p>
市長	<p>準備委員会の設置について、具体的な想定はあるのか。また市長部局にはどのようなサポートを望んでいるのか、ご意見があればお示しいただきたい。</p>
教育長	<p>準備委員会での位置付けは、教育委員会のサポートとして協力いただきたいと考えている。</p> <p>50 ページの記載では、児童生徒の声を吸い上げる場を設ける意味合いで記載しており、準備委員会の項目をわかりやすく修正する。</p>
市長	<p>計画に令和 6 年から令和 13 年の期間が設けてあるが、具体的な施策についてのスケジュールを今後どう考え、どのように進めていくのか。</p>
教育長	<p>5 つの施策について今後は、個別の計画を作成し、具体的なスケジュールを示していく。</p>
市長	<p>今後、スケジュールが示されると中身もどんどん詰めていくことになる。老朽化対策も当然行わなければならない。その他にも、学校の機能等について、このような施設や物を取り入れて欲しい等の意見がたくさん出てくると思うが、教育委員会ではどのような機能を備える必要があると考えているか。</p>
委員	<p>これから立ち上がる様々なことでハード面のことは、専門家の方をお願いして、プロジェクトの中で、老朽化対策、新しい建物を建てるとか、いろいろな形になってくると思う。</p>

	<p>これからの時代は、社会情勢も大きく変わって、子供たちが生きにくい世の中になっているかもしれない。本日の議題の不登校やいじめのことはもちろん学校の施設の機能に関わってくる問題になる。愛西市では、適応指導教室「すまいる」は2ヶ所あり、不登校に対する対策や、各学校の特別支援に対して、とてもきめ細かく手厚く、クラスも細分化されており、各児童生徒に合った対応をしていただけている。その辺りを、これからも学校施設の中に充実させていくことが必要。</p> <p>不登校の原因は多岐にわたっており、不登校の子であっても、保健室など、教室以外の場所なら行ける子どももいる。保健室登校ではなく、他に一定のスペースがあると、その子どもたちにとっても学校へ通いやすくなるのではないかと思う。</p> <p>安心してそこに行き、1日過ごすことができるならば、その子にとっては学校ににいるということが大きなことになると思う。新しく設立される中学校や既存の学校等も含めて、そんな施設が広がっていくと良いと思う。そのような機能を備えた学校になっていけると、愛西市としての特色を大きく前に出せるのではないかと思う。</p> <p>今まで不登校に対しては、スポットを当ててはいけないうような形になっているが、逆にスポットを当てて、そこを解消するためにはこういう取組があるというのを前面に出していけると、市全体の学校に対する印象が変わるのではないかと思う。ぜひそこも含めて検討していただけるとありがたい。</p> <p>委員 児童にとって魅力のある学校、特色ある学校であるべきだと思う。これからはICT教育が推進されると思うので、ICT教育が優れた学校にしていきたい。</p> <p>市長 今回の基本計画で、期限が令和13年度と決められ、今いろいろなご意見があったことを、今後、具体的な目に見える形で進めていただかなければならない。具体的な内容がなければ、どのような補助金を活用できるか等、財源確保の検討ができない。時間があるようで、限られた時間しかない。早急に具体策をどんどん決めていただかないと、予算確保にも影響する。</p> <p>全国的にも学校施設の老朽化や建替が進められていく。その中で、市として有効な財源確保を行わなければならない。しっかりと具体案を決めていただきたいと思う。また、準備委員会や保護者、地域の意見を取り入れるプロセスは非常に大切だと思う。</p> <p>機能については、市全体の施設の状況も踏まえ、検討していただきたい。</p> <p>(2) いじめ・不登校の現状について</p> <p>(資料に基づいて事務局から説明後、いじめ・不登校の現状について議論)</p>
--	--

	<p>3. その他</p>
事務局	<p>基本計画の案については、本日のご意見等をいただいた内容に沿って少し修正等があるので、ご承認いただきたい。</p>
副市長	<p>基本計画 50 ページのプロジェクトチームと準備委員会の関係を教えていただきたい。</p>
事務局	<p>まずは早急に市の教育委員会事務局と学校の先生等で打ち合わせの場を設けて、今後協議しなければならない内容について詰めていきたい。</p> <p>準備委員会は、記載する構成メンバーで具体的な協議を進める。その中で、様々な課題が生じると思うので、教育委員会或いは市事務局で構成するプロジェクトチームで協議を進めていきたいと思っている。そのため、準備委員会とプロジェクトチームは並行して実施する形になるかと思う。</p>
副市長	<p>準備委員会はいつごろ立ち上げる予定か。</p>
事務局	<p>事務局としては、この計画が軌道に乗る段階になれば、早急に準備委員会を立ち上げる。</p>
副市長	<p>準備委員会には市の職員も入るのか。</p>
事務局	<p>準備委員会は、保護者の方や地域住民の方に入っていただく、まさに第三者的な準備委員会と、その下部組織としての部会という考え方を持っており、下部組織には、市の職員や学校関係者、必要に応じて保護者や地域住民の方にも入っていただくことを考えている。</p> <p>何を検討すべきか方向性をつけ、来年度には正式に準備委員会を立ち上げていきたいと考えている。</p>
副市長	<p>プロジェクトチームを廃止して準備委員会に移行したらどうかと考えるが、どうか。</p>
事務局	<p>準備委員会とプロジェクトチームとの関係性が不明確であるという観点も踏まえて、準備委員会の設置については、プロジェクトチームそのものの廃止も含め検討してまいりたい。</p>
副市長	<p>清林館や津島高校の中高一貫校が立ち上がるので、その辺のところを踏まえ、しっかりと整理してスピード感を持ち進めていただきたい。</p>
事務局	<p>スピード感に関しては、教育委員からも厳しいご意見をいただいている。</p> <p>まずは年が明けてから、パブリックコメントを実施する。それと合わせ、</p>

事務局	個別計画や今後の学校関係者との協議についても、進めていきたいと思っている。ご理解ご協力をお願いします。
-----	---